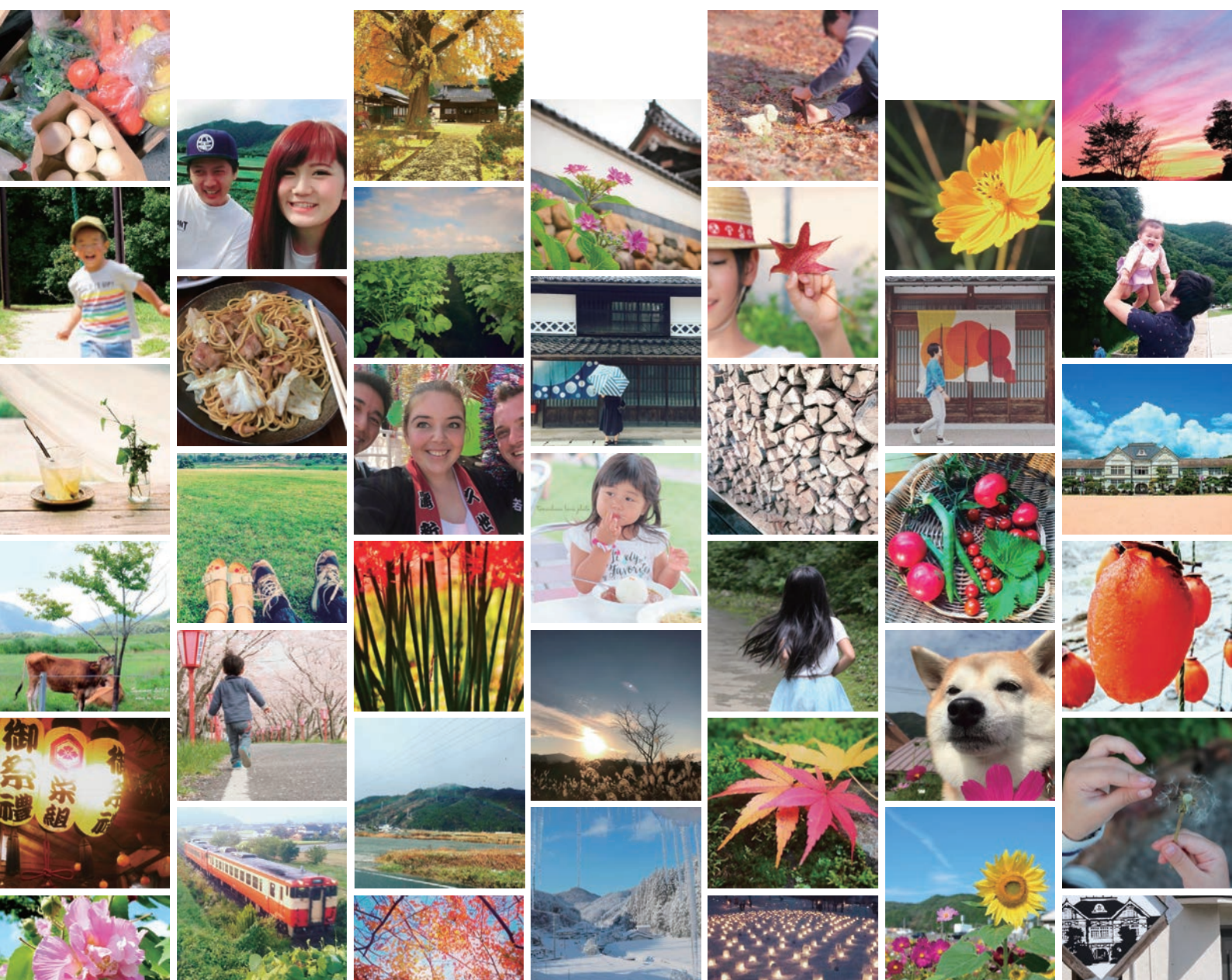


庭真直報 3 2018 第155号

- 暮らしフォトコンテスト P02～
●市政トピックス P06～
●お知らせワイド版 P08～
●真庭が好きっ 読者の広場 P20～
●ぐるっと真庭 まちの話題 P26～

写真で伝える真庭の魅力

今年度、真庭市では女性ならではの視点や感性で見つけた「真庭市の魅力」を市内外へ発信するとともに、応募作品を今後の広報素材として活用することを目的に、女性限定のフォトコンテストを開催しました。（関連記事は2ページから）





あなたの撮った真庭を送ろう。

真庭市・暮らし フォトコンテスト 結果発表

MANIWA PHOTO CONTEST



フォトコンテストにたくさんのご応募ありがとうございました！

市内外 258 人の応募者による、1,184 点の作品。

プロの写真家を含む審査会で厳正に審査した結果、入賞作品が決定しましたので発表します。

問 秘書広報課 金田 TEL0867-42-1163 (FAX1353)

撮影者

藤井 英子さん(蒜山上福田)

コメント

「蒜山の春」と呼ぶにふさわしい自然が作り出す素晴らしい色のコントラスト。

澄みきった美しく雄大な春の景色と子どもたちが胸弾ませる「動」に、シャッターを押さずにはいられませんでした。

撮影機材 Apple iPhone 6s

撮影場所 蒜山西茅部

撮影時期 平成29年4月頃



講 評

広く透き通った青空。遠くの山には雪渓が残り大きく広がる草原に枝いっぱいに咲き誇った桜。非常に美しい真庭の風景です。

そんな幸せな世界に駆け出してゆく小さな二人の後ろ姿は、自由で開放感に溢れ喜びの声も聞こえてきそうな印象を受けます。

まさに絵に描いたような「真庭の暮らし」の作品として、グランプリに選出されました。

素晴らしい作品に出会うことができました。





人物 部門

撮影者 林 ますみさん(関)

コメント

我が家は、一家総出で稲を育てています。際刈りができ、これから本格的に刈り始める前の、主人とお婿さんの並ぶ背中を撮りました。

撮影機材 Kyosera URBANO (スマートフォン)

撮影場所 関

撮影時期 平成29年9月2日

講評

男同士の時間、絶妙な二人の距離感。
やや外を向き座った二人、どういった会話を交わすのか。
毎年秋になると、同じような後ろ姿がここにはあるのでしょうか。
暮らしの基本となる「家族」が真庭の土地とともに写っている
「暮らしフォト」らしい一枚です。



風景 部門

撮影者 江森 由美子さん(西原)

コメント

時折青空が見えた隙を狙って、少し露出を上げて撮りました。蒜山三座とそば畑、田んぼが一度に見える良いポイントを発見できて嬉しかったです。

撮影機材 Apple iPhone6

撮影場所 蒜山下徳山

撮影時期 平成29年9月4日

講評

豊かに実った稲穂と蕎麦、そして蒜山三座に青空。
田畑に吹き抜ける風と、暮らしがうかがえる家並みも見えます。
ロケーション、季節感、構図が揃い安定感のある写真に仕上がっています。

真庭の魅力をインスタグラムで世界へ

フォトコンテストは、8月に東京を拠点にファッション雑誌などで活躍する写真家の石野千尋さんらを招き、湯原温泉街で開催したイベント「かわいい写真の撮り方講座」を皮切りに作品の募集を始めました。
部門は「人物」、「風景」、「暮らし」、「Instagram(以下、インスタグラム)」。4部門のなかでも、インスタグラム部門に特に多くのご応募をいただきました。

2017年の流行語大賞にも選ばれた「インスタ映え」。この「インスタ映え」とは、ソーシャル・ネットワーク・サービス(以下、SNS)のひとつである写真共有アプリインスタグラムに、スマートフォンで見栄えの良い写真を投稿することが一大ブームとなったことから生まれた言葉です。インスタグラムは、世界で約8億人が利用し、日本国内でも2000万人以上が利用するアプリといわれ、写真中心の投稿であるためファッションや食べ物などと親和性が高く、女性に人気があります。

真庭市では、このようなSNSを活用した女性の情報発信力の高さに注目し、フォトコンテストにインスタグラム部門を設定。スマートフォンで撮ったお気に入りの写真にハッシュタグ「#maniwapics」を付けて普段どおり投稿するだけで、同時にインスタグラム部門に応募できる簡単な仕組みが功を奏し、たくさんのご応募をいただくことができました。また、フォトコンテストに応募していただいたことで、皆さんが撮影した真庭市の魅力あふれる写真をインターネット上で全世界に発信することができました。

誰もが情報発信できる時代

インスタグラム、ツイッター、フェイスブックなどのSNSは、インターネット上で、個人が容易に情報発信でき、ユーザー間(友達同士)の高い信頼度により、興味や関心を共有できるソーシャルメディアです。また、一回の投稿で、SNSでつながっている友達やさらにその



インスタ 部門

撮影者 **今野 真由美** さん(東京都町田市)

コメント

職人さんが作るのれんと街並みの美しさに感動し、旅の記念に撮った写真です。すごく嬉しい入賞の報告でした。ありがとうございました。

撮影機材 Apple iPhone 7
撮影場所 勝山町並み保存地区
撮影時期 平成 29 年 8 月頃

講評

勝山のそぞろ歩きの1コマでしょうか。雰囲気のあるのれんからふとのぞかせる笑顔。ゆったりと過ごす時間、気ままな旅の楽しさが伝わってきます。旅の間に撮影された他の写真も気になります。



暮らし 部門

撮影者 **mimu3** さん(中原)

コメント

天気の良い日の早朝、父に友人へ渡す葡萄を収穫してもらっているところです。会話をしながら撮影しましたので、自然な感じが表現できました。

撮影機材 Apple iPhone 7
撮影場所 中原
撮影時期 平成 29 年 9 月頃

講評

カメラを向けられていることも意識せず作業する姿。身近な人に対する眼差し、温かい気持ちになりました。あえて人物を端に置いた大胆な画面構成もよいですね。被写体の醸し出す雰囲気、ユーモラスな様子が伝わる味わい深い作品です。

Instagram 真庭市公式アカウント



今後、公式アカウントでは、皆さんが撮影した真庭市の魅力的な写真を随時ご紹介します。真庭市公式アカウント「maniwa_official」をフォローの上、お気に入りの写真に「#maniwapics」のハッシュタグをつけて投稿してください。



今回、惜しくも入賞に届かなかった作品にも素晴らしい写真が数多くあります。今後ホームページなどでご紹介するほか、パンフレットなどの広報素材として活用させていただきます。

協力ください！

真庭市では、個人により身近となったソーシャルメディアの活用がシティブロモーションにとつてとても有効な手法と考えています。今後も皆さんが日々投稿する素敵な写真で、真庭市のシティブロモーションにぜひご協力ください！

ちです。

これからのシティブロモーションの担い手は行政や関係団体だけでなく、市民や市民団体、事業者など市内の皆さん、そして真庭市を応援してくださるすべての人たちです。

ることが出来ます。

今や、Instagramなどのソーシャルメディアを使って個人が「メディア化」しています。例えば、真庭市に愛着のある1000人のPR大使が、それぞれ100人に魅力を発信したら、10万人に真庭市の魅力を伝えることができます。

皆さんと一緒にシティブロモーションを

友達を通じて瞬時に情報が拡散していきます。

このようなソーシャルメディアを活用したユーザー参加型のフォトコンテストを開催したことにより、真庭市に愛着のある応募者一人ひとりが、いわば真庭市のPR大使として写真を通じ真庭市のプロモーション活動をしてくださったとも言えます。